

## 平成20年度決算の要約

【注】1千円未満の端数切り捨て

### 1. 正味財産増減計算書（前年度対比）

- (1) 経常収益計は、前年度対比281万円の増加となりました。
- 事業活動収益は、会員増等により421万8千円増加しました。
  - 事業収益は、手数料等の減少により130万7千円減となりました。
- (2) 経常費用計は、前年度対比で2,063万5千円の増加となりました。
- 事業費は、ホームページのリニューアル及び女性行政書士交流会支援事業等で276万8千円増となりました。
  - 管理費は、減価償却引当金等の創設により1,788万7千円増となりました。
- (3) 当期経常増減額及び当期一般正味財産は、1,782万4千円増となったことから一般正味財産期末残高は458万3千円減少しました。
- 以上により、正味財産期末残高は、9,402万2千円となりました。

単位千円

収支予算科目	19年度決算額	20年度決算額	増減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
事業活動収益	118,620	122,839	4,218
事業収益	12,572	11,264	△ 1,307
受取補助金等	1,732	1,603	△ 129
寄付金等収益	1,931	1,920	△ 11
雑収益	986	1,025	39
経常収益計	135,843	138,653	2,810
経常費用			
事業費	51,658	54,426	2,768
会議費	15,525	14,836	△ 689
管理費	36,356	54,243	17,887
日行連費	19,061	19,730	668
経常費用計	122,602	143,237	20,635
当期経常増減額	13,240	△ 4,583	△ 17,824
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0

経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	13,240	△ 4,583	△ 17,824
一般正味財産期首残高	85,365	98,606	13,240
一般正味財産期末残高	98,606	94,022	△ 4,583
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	98,606	94,022	△ 4,583

## 2. 貸借対照表

(1) 平成20年度末の資産合計は、収支差額の発生等による流動資産等の増加により、前年度より2,005万3千円増加し、2億2,692万9千円となりました。

(3) 一般正味財産は458万3千円減少し、9,402万2千円となりました。

以上により、負債及び正味財産合計は2,005万3千円増加し、2億2,692万9千円となりました。

単位千円

科目	19年度決算額	20年度決算額	増減
資産の部			
流動資産	66,271	63,777	△ 2,494
固定資産	140,604	163,151	22,547
特定資産	107,473	130,262	22,789
その他の固定資産	33,130	32,888	△ 241
資産合計	206,875	226,929	20,053
負債の部			
流動負債	796	1,685	889
固定負債	107,473	131,220	23,747
負債合計	108,269	132,906	24,637
正味財産の部			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	98,606	94,022	△ 4,583
(うち特定資産への充当額)	(107,473)	(130,262)	(22,789)
正味財産の部合計	98,606	94,022	△ 4,583
負債及び正味財産合計	206,875	226,929	20,053

### 3. 収支計算書（予算との対比）

(1) 事業活動収入計は、90万2千円の増収となりました。

○ 事業活動収入は、会員数の増加等により211万6千円の増収となりました。

○ 事業収入は、受託業務等の減少により382万5千円の減収となりました。

(2) 事業活動支出計は、3,251万9千円の減となりました。

○ 事業活動支出は、1,367万5千円減となりました。

○ 会議費支出は、684万8千円、管理費も1,096万2千円減となりました。

以上により、事業活動収支差額は1,944万9千円の増加となりました。

(3) 投資活動収入計は、872万5千円減となりました。

○ 特定資産取崩収入は、取崩の減少により872万4千円減となりました。

(4) 投資活動支出計は、21万1千円増となりました。

○ 特定資産取得支出は特定資産の運用益等により21万3千円増となりました。

以上により、当期収支差額は、333万9千円のマイナスとなりましたが、前期繰越収支差額を合わせると6,165万6千円となります。

よって、このうち2,000万円を次年度予算に充当し、残金は次期繰越収支差額として確保しました。

なお、当期収支差額がマイナスとなったのは、前年度繰越収支差額を活用して減価償却引当金を創設したことに起因します。

単位千円

収支予算科目	予算額	決算額	増減
事業活動収支の部			
事業活動収入の部			
事業活動収入	120,723	122,839	△ 2,116
事業収入	15,090	11,264	3,825
補助金等収入	1,505	1,603	△ 98
寄付金収入	2,001	1,920	80
雑収入	237	1,025	△ 788
事業活動収入計	139,556	138,653	902
事業活動支出の部			
事業活動支出	62,069	48,393	13,675
会議費支出	21,685	14,836	6,848
管理費支出	47,206	36,243	10,962
日行連会費及び日行連等活動費支出	20,763	19,730	1,032
事業活動支出計	151,723	119,204	32,519
事業活動収支差額	△ 12,167	19,449	△ 31,617
投資活動収支の部			

投資活動収入の部			
特定資産取崩収入	34,065	25,340	8,724
固定資産売却収入	1	0	1
投資活動収入計	34,066	25,340	8,725
投資活動支出の部			
特定資産取得支出	47,916	48,129	△ 213
固定資産取得支出	2	0	2
投資活動支出計	47,918	48,129	△ 211
投資活動収支差額	△ 13,852	△ 22,789	8,937
財務活動収支の部			
財務活動収入の部			
財務活動収入	1	0	1
財務活動収入計	1	0	1

財務活動支出の部			
財務活動支出	1	0	1
財務活動支出計	1	0	1
財務活動収支差額	0	0	0
予備費支出	2,000	—	1,804
予備費から振替	△ 195	—	
当期収支差額	△ 27,824	△ 3,339	△ 24,484
前期繰越収支差額	64,996	64,996	0
次期繰越収支差額	37,172	61,656	△ 24,484